

平成31年度学校自己評価システムシート (県立越谷総合技術高等学校)

目指す学校像	社会に貢献する産業人材を育成するために、自ら進んで学ぶ礼儀正しい生徒を育てる。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ姿勢を育て、生徒一人一人の学力を向上させる。 規範意識を高める指導を推進し、豊かな人間性を持った生徒を育てる。 キャリア教育の充実により、進路に対する意識を高め、希望する進路を実現する。 地域等との連携と積極的な情報発信により、本校教育への理解を深める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	10名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年度評価 (2 月 1 日 現 在)		
年 度 目 標		年 度 目 標			年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	多くの生徒が普通教科、専門教科ともにバランスよく学習し、さらに資格試験の取得を目指し普段から努力している。一方、学習面で支援を必要とする生徒が、苦手な学習や課題を後回しにしてしまう傾向がある。生徒が学習や資格取得を計画的に取り組むための工夫が必要である。	<ol style="list-style-type: none"> ①学力を向上させるとともに、学習習慣を身に付けさせる。 ②授業補講や資格取得に計画的に取り組ませる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①朝読書の他、朝学習やSPI等の小テストを行い、基礎学力を身に付けさせる。 ②新聞記事の紹介などを行い、教室の新聞を活用し、一般常識を身に付けさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒が主体的・対話的に学べる機会を提供しているか。(前年度比述べ回数3回増) ②補習や朝学習などの学習環境を整える方策を組織的に取り組むことができたか。 	<p>研究授業や朝学習、補習の工夫が必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①協調学習による研究授業の実施回数は、前年度比8回減。ただし、2年生全体で修学旅行に向けた協調学習を実施。 ②学年毎に朝学習や補習プランを考え実行したが、積極的に取り組む生徒は多くなかった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣を身に付けさせるため、朝読書の時間を曜日によって分け、基礎学力の定着のための課題に取り組みさせる。
		<ol style="list-style-type: none"> ①生徒が資格取得を計画的に行えるよう、本校で取得できる資格一覧を提示することで学習意欲の向上を図る。 ② 考査前の会議を減らし、考査1週間前を補講週間とする。 	<ol style="list-style-type: none"> ①年度当初に資格取得一覧表を生徒に提示することができたか。 ②毎学期補講時間を確保することができたか。 	<p>資格取得一覧表の活用を促進する必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①年度当初クラス掲示したが、他学科の検定受験者は少なかった。 ②考査1週間前の会議は、ほぼ未実施。補習の時間は確保できたが教科間の連携が必要。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得に向けた指導や、各学科の課題におけるサポートを組織的にを行い、その指導の中で専門的な知識を身に付けさせる必要がある。 	
2	規範意識のある生徒が多く、学校周辺での交通事故は減少している。校内は整理整頓され規律ある学校生活を送っている生徒が多い。しかし、ネット関係での問題が発生し、人間関係に悩む生徒が多い。部活動の活性化と交通意識の徹底と適切な状況判断の育成が課題である。	<ol style="list-style-type: none"> ①安心安全な学校づくりのための教育環境を充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ネットセキュリティ講演会・情報セキュリティ講演会を実施し、心配な生徒情報の共有化を図る。 ②部活動の活性化を図り、人間関係を構築し、規律・礼儀・忍耐力を高める。 ③通学路での立哨指導を継続し、交通安全に関する講演会を実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ネットモラルに関わる生徒指導件数は減少したか。 ②部活動への加入状況と活動実績の割合は高いか。 ③前年度より交通事故件数の減少は達成できたか。 	<p>生徒が安心安全に行動できるための継続的な指導が必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ネットセキュリティ問題は、昨年10件から1件に減少。 ②部活動の全体加入率は85.1%である。運動部(36.3%)に比べ文化部(48.8%)の加入率が高いが、活動参加率は低い。 ③交通事故は、昨年18件から17件とほぼ同数。ただし、相手方に過失がある場合が多かった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS関係のトラブル防止のため、日頃から具体的に指導していく必要がある。 ・部活動は退部ではなく、転部への指導が必要。また、活動に参加できるようにする。 ・交通事故の発生要因は、相手の過失が多いため、リスク管理能力や危機管理能力を身に付けさせることが必要である。
3	<p>昨年度の就職内定状況は、好景気のため好調であった。</p> <p>しかし、1社目で不採用となった生徒が一昨年に比べて若干増加した。不採用の理由として「学力試験ができていない」という回答をする事業所が増えた。学校全体で考えていくべき課題である。</p> <p>進学者から「進学希望者に対する指導が手薄い」というアンケート結果があり、進学者に対しても手厚い指導を実施していく必要がある。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①就職希望者の内定率の維持及び、学力試験に対する指導を充実させる。 ②面接試験に対する指導の充実等、進学希望者に対する指導を充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①就職希望者に対する指導をより充実させるために、担任、学科との情報交換を密に行い、就職希望を実現させる。また、進路手帳や面接カードを活用して、学力試験、面接試験ともに指導体制を整える。 ②短期間での離職を防ぐために、キャリア教育の充実を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①各担任、各学科との情報交換を行い、情報を共有できたか。 ②就職希望者の満足度は90%以上であったか。 ③卒業生進路説明会の際に「卒業生アンケート」を実施し、卒業生の現状を把握することができたか。 	<p>生徒の就職指導に対する満足度は高かった。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①7月中は毎日学年会を進路室で行い、就職希望者に対する情報共有を図るようにした。 ②就職希望者の満足度は、94%であった。昨年度より1%減少したが、おおむね達成できた。 ③離職に関するアンケートを実施した。今後の指導に生かしていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・就職に関しては、オリンピックによる景気要因がなくなる中で不透明ではあるが、引き続き、進路指導の満足度を維持し、就職率100%を目指す。また、ミスマッチのないように情報共有、進路相談を充実させる。
			<ol style="list-style-type: none"> ①進学希望者に対する面談の機会を増やし、進路新聞や進路だより等で、生徒に有益な情報を提供できるように体制を整える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①進学希望者の満足度は90%以上であったか。 	<p>進学希望者における進路指導満足度が増したが、さらなる工夫が必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①進学希望者の満足度は、94%であった。昨年度より2%増加した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進学に関する指導が就職に比べて手薄いという意見がある。そのため、次年度は進学者登校日を設定し、指導を手厚くする。また、夏季休業中に自習室を設定し、大学受験に備えるように整備する。
4	<p>ホームページや中学校等との様々な関わりを通して本校の教育活動を発信している。しかし更なる工夫が必要である。</p> <p>学校説明会等の内容を検討、充実させるとともに、ホームページのスマートフォンへの対応、メディア等を活用して本校の活動を発信し生徒募集につなげることが喫緊の課題である。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①情報発信の内容、方法を見直し、より魅力のあるホームページを構築する。 ②地域や各種学校との連携を図り、本校に興味を持つ中学生を増やす。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ホームページを見やすく整理するとともに、メール配信システム等を活用する。 ②部活動の成績や各学科のコンテスト、競技会の成績を発信し、校名を広め、評価を向上させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ホームページに満足している保護者の割合は増加したか。 ②ホームページの更新回数は増加したか。 	<p>ホームページの満足度を向上させる必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アンケートの結果、保護者のホームページに関する印象は変化ない。 ②トップニュース更新回数は、前年度比4回増(86回)となり、学科や分掌、部活動による定期的な更新が増加した 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページについては、よく更新をしている担当もある。リニューアルしたことを契機に、今後も内容の充実を図る。
		<ol style="list-style-type: none"> ①小中学校を対象とした講座やコンテストを開催するとともに、出前授業の依頼元である中学校の新規開拓をし、地域を広げる。 ② 学科の特色を生かして地域の行事に参加し、本校の認知度を高める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校説明会への参加者は増加したか。 ②学外の情報媒体によって情報発信をされたか。 	<p>専門学科を中学生に周知する方法を工夫する必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学校説明会の参加者は減少傾向にある。 ②学科を中心に地域の事業に参加するとともに、中学生向けの講習会などを実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・連携活動は長期休業中などでの充実を進めている。しかし生徒募集については、依然厳しい状況があるため、工夫・改善が必要である。 	

学校関係者評価	実施日 令和2年2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ばせる姿勢は、大学においても課題である。 ・コミュニケーション力とは、会話だけではなく、相手の話に耳を傾け、相手を理解する「聴く力」が大切である。コミュニケーション力には、表情や声の高さ、熱意などが必要とされるため、それらを伝えられるような指導をお願いしたい。 ・生徒に計画性を持たせることで、集中力や熱意を育むことができるのではないかと。
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の被害者となった場合、生徒に適切な行動を促すため、防災や交通事故など緊急事態の対応マニュアルをカード形式で作成し、生徒に配布してはどうか。 ・部活動の参加率が低いのはなぜか。具体的に対策を講じる必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・進路手帳の活用は良い取組である。引き続き続けてほしい。 ・就職の面接において、個性を發揮してほしい。そのためにも、高校において、発表会などあらゆる機会を通して、表現力を身に付けて臨んでほしい。 ・就職後のビジョンを持たせる指導をお願いしたい。生徒が順調にいかないことを怖がらないための指導が必要である。 ・大学入試改革に生徒が対応できるよう柔軟な指導をしてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページは改善され、大変見やすくなった。もっと多くの保護者に見てほしい。 ・地域のイベントに参加するなど、地域とつながりがあることにより、有事の際に協力を強化し、被害を最小限にすることができると考える。今後も積極的に地域とのつながりを持ってほしい。